

2023 年 10 月高等教育自学考试全国统一考试

日本国概况

(课程代码 00608)

注意事项:

1. 本试卷分为两部分, 第一部分为选择题, 第二部分为非选择题。
2. 应考者必须按试题顺序在答题卡(纸)指定位置上作答, 答在试卷上无效。
3. 涂写部分、画图部分必须使用 2B 铅笔, 书写部分必须使用黑色字迹签字笔。

第一部分 选择题

一、单项选择题: 本大题共 20 小题, 每小题 1 分, 共 20 分。在每小题列出的备选项中只有一项是最符合题目要求的, 请将其选出。

1. 山地・山脈は日本の全国土面積の約_____を占めている。
A. 55% B. 65%
C. 75% D. 85%
2. 日本で一番広い平野は_____である。
A. 関東平野 B. 高知平野
C. 伊勢平野 D. 富山平野
3. _____市は陶磁器工業が盛んで、日本一の陶都と言われている。
A. 鎌倉 B. 京都
C. 名古屋 D. 瀬戸
4. 『徒然草』の作者はだれか。
A. 藤原定家 B. 吉田兼好
C. 藤原家隆 D. 鴨長明
5. 日本の文化の根底となっているものはどれか。
A. 国風文化 B. 縄文文化
C. 鎌倉文化 D. 室町文化
6. 1987 年の労働基準法改正によると、1 週間の労働時間は何時間か。
A. 35 B. 38
C. 40 D. 48

7. 端午の節句はどれか。
A. 男の子の節句 B. 女の子の節句
C. 一家団欒の節句 D. 親の日
8. 日本の国公立の学校では、宗教教育はどうなっているか。
A. 許されている B. 禁じられている
C. 規定がない D. 盛んになっている
9. 生産量が全国の 7 割を占める日本一のリンゴの産地はどこか。
A. 福井県 B. 栃木県
C. 青森県 D. 奈良県
10. 奈良時代の文化を何と呼ばれているか。
A. 天平文化 B. 古墳文化
C. 化政文化 D. 元禄文化
11. 第二次産業に属する産業はどれか。
A. 水産業 B. 建設業
C. 運輸通信業 D. 農業
12. 日本では、稲作を特徴とする農耕社会はいつ頃成立したのか。
A. 紀元前 1 世紀 B. 紀元前 2 世紀
C. 紀元前 3 世紀 D. 紀元前 4 世紀
13. 日本の現行の教育制度(小 6、中 3、高 3、大 4。義務教育は 9 年)はいつ生まれたものか。
A. 1947 年 B. 1950 年
C. 1952 年 D. 1955 年
14. 戦後、日本を占領した連合軍が導入した、日本経済に大きな影響を与えた基本政策は_____、農地制度の改革、労働権の確立である。
A. 国営企業の確立 B. 労働賃金の確保
C. 年功序列制 D. 財閥解体
15. 仏教は、6 世紀にどのようなルートで日本に伝来したのか。
A. インド B. インド・東南アジア
C. 東南アジア D. 中国・朝鮮
16. 日本の国技と言われるものはどれか。
A. 野球 B. 柔道
C. 相撲 D. 書道
17. 日本では、着物が正装になったのは_____からである。
A. 鎌倉時代 B. 江戸時代
C. 平安時代 D. 明治時代
18. 日本人は会話中に_____やうなずきを頻繁する習慣があると言われている。
A. 相槌 B. 身振り
C. 手振り D. 笑い

19. 高学歴社会を反映して、教育費のウエートが年々_____しているのが日本の家計の大きな特徴である。

- A. 縮小 B. 拡大
C. 均衡 D. 無視

20. 日本最大の湖は_____である。

- A. 池田湖 B. 諏訪湖
C. 田沢湖 D. 琵琶湖

二、多项选择题：本大题共 5 小题，每小题 2 分，共 10 分。在每小题列出的备选项中至少有两项是符合题目要求的，请将其选出，错选、多选或少选均无分。

21. 日本の国土は_____の四つの大きな島のほか、散在する 4000 弱の島からなる。

- A. 九州 B. 鹿児島
C. 北海道 D. 本州
E. 四国

22. 日本は自然災害が多い国である。その種類は_____などがある。

- A. 台風 B. 火山
C. 津波 D. 砂嵐
E. 地震

23. 日本三庭園と呼ばれるのは、以下のどれか。

- A. 偕楽園 B. 祇園
C. 豊島園 D. 兼六園
E. 後樂園

24. 島崎藤村が著した作品はどれか。

- A. 破戒 B. 蒲団
C. 舞姫 D. 夜明け前
E. こころ

25. 日本の社会保険には_____の部門がある。

- A. 医療保険 B. 雇用（失業）保険
C. 労働災害保険 D. 年金保険
E. 生命保険

三、判断题：本大题共 10 小题，每小题 2 分，共 20 分。判断下列各题正误，正确的在答题卡相应位置涂“A”，错误的涂“B”。

26. 富士山は日本で一番高い山で、高さが 4776m ある。

27. 本州の最北端は北海道地方である。

28. 16 世紀、ポルトガル人やスペイン人が日本に来航し、日本と貿易を開始した。当時の日本では、ポルトガル人やスペイン人を南蛮人と呼び、この貿易を南蛮貿易と言った。

29. 日本の鉄道には国鉄と私鉄があったが、今、国鉄はない。

30. 京浜工業地帯は京都の海浜辺りの工業地帯を指す。

31. 弥生時代は、紀元後 3 世紀ごろまで続いた。

32. 日本の学校の新学期は 4 月に始まる 2 学期制である。

33. 日本では、女が結婚すると、必ず夫の姓に改姓する。

34. 『古事記』は日本最古の文学と考えられる。

35. 日本の茶は奈良時代に中国から伝わってきたものである。

第二部分 非选择题

四、填空题：本大题共 10 小题，每小题 2 分，共 20 分。用日语作答。

36. 行政上では、日本は 1 都、1 道、2 _____、43 県に分けられている。

37. 毎年同じ_____に吹く風は季節風（モンスーン）という。

38. 山地・山脈は日本を太平洋側の_____と日本海側の裏日本と二分している。

39. 昔、蝦夷地と呼ばれ、アイヌ民族が住んでいた所は_____である。

40. 日本のまわりには暖流と_____が流れているので、魚の種類も量も多い。

41. _____年 9 月に、中国と日本は国交を回復した。

42. 自然科学の分野で、日本人で 1949 年にはじめてノーベル賞を受けたのは理論物理学者の_____である。

43. 日本軍は、_____年 9 月 18 日、奉天郊外の柳条湖で「南満州」鉄道を爆破し、これを中国軍のしわざとして軍事行動を開始し、「九・一八事変」が始まった。

44. 国学という学問を思想的に高めて『古事記伝』を著述し、日本古来の精神に帰ることを主張したのは、_____（1730～1801）である。

45. 日本の気候は大きく_____気候と日本海式気候に分けられる。

五、简答题：本大题共 5 小题，每小题 3 分，共 15 分。用日语作答。

46. 日本の六大工業地帯を挙げなさい。

47. 代表的な日本料理を三つ挙げなさい。

48. 日本の国会の権限を挙げなさい。

49. 日本の企業の意思決定の方法について簡単に述べなさい。

50. 遣唐使について簡単に述べなさい。

六、阅读理解题：本大题共 5 小题，每小题 3 分，共 15 分。用日语回答文章后提出的问题。

日本の生活は、日本に固有の文化の伝統が生きていることが多い。どんなに洋風の住宅であっても、畳を敷いた和室が一室あることが多い。それはただ昔ながらの習慣だからというだけでなく、夏は涼しく冬は暖かいこの独特の床材が、四季の変化の大きい日本の風土に適しているという合理性も持つからである。

「畳」という名が示しているように、元来はそれは今日の「ござ」のような、たためるくらいの薄い敷物であった。現在のようにわらをさし固めた厚い畳になっても、古代にはちょうど今日の座布団のように人の座るところだけに敷いたものであり、この風習は現在も雛人形などに形をとどめている。室町時代に小さな室が増えるようになってはじめて、今日のように部屋中に敷き詰めるようになった。室町末期から桃山初期に完成した書院造は、この畳を敷き詰めた室に明かり障子や床の間を伴った。今日の和室の原型をなした。畳を敷き詰めた室や明かり障子が一般の民家にまで普及するのは、江戸時代になってからである。

このように畳を基礎とする住生活は、ベッドに対する布団、椅子に対する座布団、ストーブに対するこたつなど一連の生活文化を発達させたばかりではなく、座り方のような日常の立ち居ふるまいに現れる行動文化にも影響を与えている。畳の家は西洋の住宅のように土足でそのままあがることはできないから、靴と比べて着脱の容易な下駄や草履が愛用され、これがまた日本人の歩き方に影響している。

51. 日本の生活に日本固有の文化の伝統が生きている証拠を一つ挙げなさい。
52. 畳はなぜ、現在でも日本で愛用されるか。
53. 畳は最初から部屋中に敷かれたものか、いつ変わったのか。
54. 今日の和室の原型をなしたのは何か、形はどうなっていたか。
55. 日本人はなぜ、下駄や草履を愛用するのか。